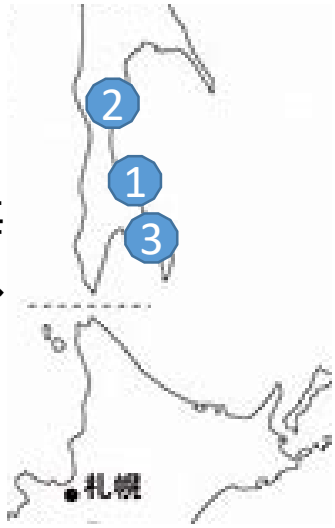
南樺太における野鳥での高病原性鳥インフルエンザ感染事例

７月下旬、南樺太において、死亡野鳥（ウミスズメ科）で高病原性鳥インフルエンザの感染が3件確認されました。

①7/20　ドリンスク市　1羽
②7/25　マカロフ市　272羽
③7/25　コルサコフ市　1羽



８月上旬からシギ・チドリ類等がこの地域を経て北海道に飛来し、秋にはカモ類の飛来ルートにもなるため、今後の本道へのウイルス侵入リスクとして重要です。

～発生リスクの低い夏季中にやるべきこと～

次シーズンも本病の発生リスクは高いと予想されているため、夏の間に、鶏舎等を再点検し、修繕、防鳥ネットの追加設置・補修・対策の確認を行いましょう！

〇防鳥ネット、金網、壁、屋根（通気口含む）の点検・補修
〇集卵・除糞ベルトの開口部の隙間対策（ネット設置等）
〇排水溝等からの野生動物侵入防止対策（鉄格子の設置等）
〇ネズミ等対策（トラップ設置）
〇鶏舎周囲の整理・整頓（雑草・樹木の剪定等）
〇鶏舎専用の服・靴の用意及び交換場所の設置
〇消毒薬（車両消毒・踏込消毒槽）の定期的交換

第三者の目で点検しては、いかがですか？

※御依頼があれば、当所職員が点検に伺いますので、是非、この夏に～御検討ください！

北海道空知家畜保健衛生所
☎0126-22-4212 www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/ds/khe/
時間外、閉庁日の緊急通報は、空知総合振興局 ☎ 0126-20-0200（繋がるまで呼び出してください）